

事務事業名	女性連絡協議会運営支援事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務企画部	所属課	総務課
施策名	計画 17	人権が尊重される社会づくり				所属係	総務選挙班	課長名	出口増穂
基本事業名	体系 64	男女共同参画推進活動の実践				担当者名	岡本貴子	電話番号 (内線)	096-242-1112 1218
予算科目	会計 01	款 02	項 01	目 15	事業	法令根拠	男女共同参画社会基本法		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 (開始年度 14 年度 ~) (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) ・女性連絡協議会が主催する講演会等に合志市が共催し、回覧用チラシの印刷・配布、職員の参加等の協力支援を行い、市民への男女共同参画の推進や生活改善に取り組む。 (業務の内容) ①合志市長宛の共催依頼文書受付、②共催依頼文書市長決裁、③会場押さへ④持参した紙に回覧用チラシを印刷し区長便で各区へ配達、⑤メールにて職員に参加の呼びかけ、⑥前日・当日の会場準備の手伝い、講師の送迎⑦講演会等に参加、⑧かたづけの手伝い、⑨解散 (予算の内訳)なし						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	0
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

・「おしゃべりサミット」を開催した…世界女性スポーツ会議くまもと共同議長小笠原悦子さん講演、ワークショップ
 ・「翔け！“セラヴィ”」を開催した…オープニングコンサート、活動報告、笑福亭松三郎さん(から)の寄演

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

「おしゃべりサミット」・「翔け！セラヴィ」等の開催

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・まちなねと“セラヴィ”

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・主催イベントが男女共同参画の重要性の認識や生活に活かしていく内容となる

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

・男女共同参画に向けて取り組むようになる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 啓発活動数	回
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 加入団体数	団体
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア アンケートで活かしていくと回答した人	人
イ 参加者数	人
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 委員会、審議会への登用率(行政・学校)	%
イ 町内会代表における女性比率	%
ウ 男女共同参画社会が構築されてきたと思う市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円							
			事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間			264	264	264	264	264	
		人件費計 (B)	千円	0	0	1,048	1,048	1,048	1,048	1,048	
トータルコスト(A)+(B)				千円	0	0	1,048	1,048	1,048	1,048	
活動指標			ア	回			2	2	2	2	
			イ								
対象指標			ア	団体			18	14	15	16	17
			イ								
成果指標			ア	人			100	200	200	200	200
			イ	人			200	300	300	300	300
上位成果指標			ア	%			29.2	30	33	35	40
			イ	%							

事務事業名	女性連絡協議会運営支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・平成13年設立後、市民の視点での男女共同参画や生活改善イベントを実施している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

・変化は見られない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・市役所職員の参加が少ない。
・活動内容や参加者がマンネリ化しているようである。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・意図の男女共同参画の重要性や生活に活かしていく、というものが参加者に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・全市民対象で取り組まれているので、税金を投入することには妥当性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・とにかく参加者を増やす事が前提である。しかし、合志市主催事業にも同様な内容があるので、一緒に開催して参加者を増やすなど、向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・行政主導ではなく、市民が主体的に率先して男女共同参画に取り組む事業は重要であり、廃止休止した場合は、影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・合志市主催のイベントと連携して実施することは可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・合志市からの予算措置はないので、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・合志市のイベントと連携すれば、人件費は削減できる余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ・全市民を対象にしているので、公正・公平である。

合志市

事務事業名	女性連絡協議会運営支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

・合志市とのイベントと統合することは可能であるので、“セラヴィ”としっかり議論し、市民側からの啓発としての意識が薄まらないように検討が必要。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
- ・合志市主催のイベントとの統合

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・行政主導、市民側からの啓発の位置づけをしっかりと論議して、それぞれの主体性が薄まらないようにすることが重要。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項